

1. 評価結果概要表

【認知症対応型共同生活介護用】

作成日 平成 20年8月21日

【評価実施概要】

事業所番号	0770302511		
法人名	株式会社 エコ		
事業所名	グループホーム 陽だまり		
所在地	福島県郡山市富田町字菱内32番地 (電話) 024-962-7178		
評価機関名	NPO法人福島県シルバーサービス振興会		
所在地	〒960-8043 福島県福島市中町4-20 みんなビル302号室		
訪問調査日	平成20年7月10日	評価確定日	平成20年9月2日

【情報提供票より】(平成20年6月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年11月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18人
職員数	16人	常勤	14人, 非常勤 0人, 常勤換算 14.5人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	1階建ての 1 ~ 2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000円	その他の経費(月額)	4~10月9,000円 11~3月12,000円
敷金	有() 無 ●		
保証金の有無 (入居一時金含む)	● 有(19,950円) 無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,200円

(4) 利用者の概要

利用者人数	18名	男性	6名	女性	12名
要介護1	6名	要介護2	4名		
要介護3	6名	要介護4	1名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 80.4歳	最低	63歳	最高	90歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	佐々木医院 八幡歯科医院
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームの近くには、川沿いを散歩するには最適な親水公園があり、自然環境に恵まれ、しかも国道にも近い距離にあり、立地条件が地域密着型サービスに適している。運営推進会議を積極的に活用し、サービスの質の向上や災害時等の地域協力体制についての協力をお願いするなど、地域連携に活用している。また、会議記録からも実質的な審議がうかがわれる。ケアマネジメントは、アセスメントを適切に行い、利用者の課題解決のために実現可能でモニタリングしやすい目標を立て、利用者、家族との話し合いを重視しながらケアに当たっている。利用者は落ち着いて親しみやすい表情をしており、職員と一体的な信頼関係を築いているホームである。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	改善事項については、運営推進会議の検討議題とし、委員にモニター役になってもらいながら改善に向けて取り組んでいる。
重点項目②	自己評価については、全員参加で行なっており取り組みの事実を明確にしている。全体的には法人と管理者とが総括し質の向上に反映させている。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5)
重点項目③	2ヶ月に1回程度定期的開催し、しかも有意義な会議となっており記録内容も充実している。地域住民の代表者には、特に運営推進会議の意義や役割が認識されている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
重点項目④	定期的に生活情報や行事の写真等詳しい便りを添え報告している。また、受診の報告書やお小遣い出納帳も併せて送付している。金銭管理も二重のチェック体制となっており、適正に行なわれている。家族等の面会者も多く、その際には情報を提供したり要望等を聞き、運営に反映させるよう努めている。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会にも加入しており、運営推進会議の委員の協力もあり、地域との交流は積極的である。ボランティアによるフラダンス、朗読、詩吟、楽器演奏など受入れにも努めている。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念を踏まえ、地域密着型サービスの視点で、職員一人ひとりが自分が入居したいグループホームを想定して意見を出し合い、各ユニット毎に独自の理念を作成している。		理念の表記の中に具体的に地域との交流を加えることで「地域密着型」の理解と認識が一層深まると思われる。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員全体が参画して作り上げた理念であるため、日常のサービス提供にあたっての意識も高い。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入しており、ボランティアの受け入れや地域の行事への参加を積極的に行っている。また、運営推進会議を通して情報開示を行っていることが、地域からの理解と協力を得られることにつながり、開かれた事業所としての運営がスムーズに行われている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の結果は運営推進会議に報告し、委員と共同で改善項目を具体的に検討している。自己評価については、職員全体で意見交換し、その過程で日常のサービスについての改善点を見つけ出し、常によりよいサービスのあり方について取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的開催されており、会議録からは具体的な発言者とその内容が読み取ることが出来、運営推進会議が有効的に機能している。		
6	9				
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	家族に対しては、毎月利用者一人ひとりの近況を手書きで作成し、事業所で発行している「便り」や医療機関の受診状況、金銭出納帳のコピー、領収書も送付している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議においては、家族が積極的に意見を述べている。家族と利用者との間に問題が生じた場合には、双方へある程度の距離を保ちながら、アドバイスを行うことで利用者の心の安定を図っている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	法人としての定期異動はあるが、最小限の規模にとどめることを心がけている。異動の際の引継ぎには、前任者・後任者共に利用者の動揺・混乱を呼び起こさないように細心の注意を払って行っている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
5. 人材の育成と支援						
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修は、ステップアップ・スキルアップを目的に行われており、1ユニット毎に1ヶ月あたり数人の参加を計画している。また、受講した職員には研修報告書の作成を義務付け、スタッフ会議で発表することにより最新情報の共有に努めている。職場においては、OJTチェック表を用い日常のサービス提供の場で現場指導や教育を行っている。			
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同一法人内のグループホームとの交流や情報交換は行なっているが、同一法人以外の他のグループホームとの交流等は行っていない。	○	同一地域内にはグループホームが多く存在しているので、他の同業者への視察研修や実践的な交流を行なうことにより、サービスの質の向上に役立つものと思われる。	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)						
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護)	/			
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援						
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の中にはリーダー的な存在があり、掃除、食卓の準備、畑仕事などを積極的に行っている。職員は人生の先輩から教えてもらうという姿勢で、尊敬の念を持って接している。			

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の日常生活から思いや意向を感じ取りまた、家族からの情報を取り入れながら、意向の把握に努め、生活上の具体的な課題分析と課題検討を行いケアに反映するよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者や家族の意向を取り入れた計画となっている。毎月利用者や家族の希望を踏まえてカンファレンスを行い職員全員で話し合い現状に即した個別・具体的な計画作成に努めている。		日々の介護記録は、詳細に記録されてあるが、介護計画に基づくサービス内容を基本的に記録するなど、本来のケアに負担がかからないよう合理的な記載方法を検討してはどうかと思われる。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画作成している	期間内に見直しを行っており、利用者の状態変化に対しては、家族や関係者と話し合い、適時見直しを行なっている。なお、見直しの際の参考としてモニタリングシートを用いているが、本人と家族の達成度に対する判断基準の記載に苦慮しているようである。		介護サービスの内容やサービス提供方法が適切であったか、どうかの確認のためのモニタリング表を改善してはどうかと思われる。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている(小規模多機能居宅介護)	/		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医との連携を密にし、家族との協力により通院介助を行ない、適切な受診支援を行っている。専門医療機関を受診した結果についても、かかりつけ医にその都度報告し相談を行なうなど連携を深めている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に対する事業所として対応できる範囲の具体的な対応指針を作成し、確認を得ている。個別にも利用者、家族、主治医との話し合いを行い、急変時の対応について方針の統一を図っている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者のプライバシーを尊重し誇りを損ねないよう言葉遣いにも十分留意したり、個人情報保護に関する法令順守を徹底するための勉強会等を随時行なっている。家族の面会記録はカード式になっており、個人情報の具体的な扱いに留意している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者がゆったりと自由に過ごせるよう、身体や気分配慮し、買い物や散歩など声かけをし、希望に添って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューも利用者と相談し、地元のスーパーから食材を購入したり、調理の下ごしらえ、盛付け、後片付けなど利用者の協力を得ながら行なっている。職員も利用者と一緒に食事を楽しみながら、さり気なく介助している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の時間帯は基本的には決めているが、利用者の様子を見ながら、希望や状況に合わせて、楽しみながら入浴できるよう支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている(認知症対応型共同生活介護)	調理や掃除、洗濯、畑仕事、折り紙による作品など利用者の得意分野や好みを把握し、場作りをしながら支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している(認知症対応型共同生活介護)	買い物や散歩等出来るだけ外出の機会を設けるよう努めている。ドライブやレストラン等での食事を楽しみ、気分転換を図ることもある。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員のさり気ない見守りにより、落ち着いて過ごしており、日中は鍵をかけていない。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	管理者が防火管理者となり、消防署の協力を得ながら、年数回定期的に避難訓練を行なっている。運営推進会議を通じ、地域の人たちの協力と理解を得るようお願いしている。また、地域での災害訓練にも参加している。食糧や水等の備蓄もある。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	生活チェック表により食事や水分の摂取量を把握し、職員間で情報を共有し、利用者の状態に応じて支援している。栄養士の献立を基にし、栄養管理を行なっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	建物は主要幹線道路に近いところに設置されているが、騒音が入ってくることはなく、周りが田んぼに囲まれているためか、季節的に窓を開け放っているため風が居間や通路を心地よく通り抜けている。居間は季節感溢れる手作りの飾り物が置かれていて、明るい雰囲気である。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者それぞれの好み、趣味、生活歴が活かされた室内装飾になっている。		

※  は、重点項目。

3 評価結果に対する事業所の意見

事業所名 グループホーム 陽だまり

記入担当者名 田中 明美

評価結果に対する事業所の意見

特になし

評価結果に対する「事業所の意見」の記入について

意見については、項目No.を記入してから内容を記入してください。